

# 2023 年度事業計画

## 1. 図書館事業

### 1. 収集

- ① 寄贈・寄託資料の受入
- ② 資料の購入（雑誌欠号補充ほか）
- ③ 寄贈・寄託事務規定等整備

### 2. 整理

- ① 寄贈・寄託および購入資料の整理

図書 大手出版社新刊ほか出版社・個人寄贈書  
曾根博義文庫（継続 2022 年 11 月末現在 3,756 冊登録済）  
青木鐵夫収集藤枝静男コレクション（継続）  
掘尾宗久氏寄贈図書（継続）  
瓜生鐵二文庫、山川方夫文庫  
ほか 計約 4,000 冊

雑誌 出版社寄贈新刊、同人誌、会報、紀要  
購入雑誌（主に欠号補充）  
川上春雄文庫、高見順文庫、社会文庫、  
美土路昌一コレクション（追加・未整理分）  
ほか 計約 10,000 点

特別資料 <登録予定>  
伊藤整文庫（継続）  
昭和戦前期プロレタリア文化運動資料（継続）  
坂本忠雄旧蔵資料、橋中雄二旧蔵資料、奥田茉莉旧蔵茉莉花・未来関連資料  
平岩米吉旧蔵諸家原稿、上田敏雄コレクション、  
木俣修コレクション、高安国世資料  
ほか 計約 3,000 点

<整備・登録準備 継続>  
志賀直哉コレクション

- ② 図書・特別資料の遡及入力

図書 一般書架配架の作品、全集正本  
特別資料 文庫・コレクションを中心に（継続）

- ③ 特別資料のデジタル画像化

### 3. 閲覧・公開

- ① 駒場本館 休館日＝日曜、祝日以外の月曜、月曜祝日の翌火曜（または月曜を含む連休の翌日）、第4木曜、年末年始、特別整理期間  
成田分館 開館日＝毎月第1、第3土曜日（12月の第3土曜日、年始を除く）
- ② 資料複写、資料写真サービス  
視聴覚資料を閲覧室の専用コーナーで順次公開する

### 4. 出品等協力

### 5. 特別整理期間

6月13日（火）～17日（土）／2024年2月12日（月・振休）～17日（土）  
（書架調整、曝書、庫内清掃、衣類など布製資料の虫干しほか）

### 6. 図書資料委員会

5月、9月、12月の年3回開催予定

### 7. 志賀直哉コレクション研究委員会

## 2. 展覧会事業

### 1. 春季特別展「島崎藤村の世紀―〈編集〉する／される作家」

会期：2023年4月1日（土）～6月10日（土）

編集委員：中山弘明

- 部門構成：1 遺稿を編む―「春」と雑誌「文学界」―  
2 自作を編む―『藤村詩集』と『藤村読本』―  
3 全集を編む―「定本版藤村文庫」と「破戒」表現史―  
4 雑誌を編む―「処女地」と女性たち―  
5 「夜明け前」と芝居―近代演劇の中の藤村―  
6 戦後作家と島崎藤村―島崎翁助コレクションから見えるもの―

図録作成予定（B5判、32p、600部、990円）

トークイベント 5月3日（水・祝）藤村と翁助―政治、美術そして文学

講師：加藤哲郎（一橋大学名誉教授）、春原史寛（武蔵野美術大学准教授）、  
中山弘明（本展編集委員・徳島文理大学教授）

川端康成記念室「川端文学のヒロインたち」と同時開催

## 2. 夏季企画展 「教科書のなかの文学／教室のそとの文学 I 芥川龍之介「羅生門」とその時代」

会期：6月24日(土)～9月9日(土)

編集委員：庄司達也・紅野謙介

\*7月(日未定)、関連講座「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして」

## 3. 秋季特別展 「プロレタリア文化運動の光芒」(仮)

会期：9月16日(土)～11月25日(土)

編集委員：林淑美、中川成美、内藤由直、村田裕和

部門構成

- 1 第一次世界大戦前後——世界文学としてのプロレタリア文学
- 2 文藝戦線からナップへ
- 3 運動解体期
- 4 転向期

図録作成予定

イベント開催予定

川端康成記念室＝「川端康成が見出した作家たち」を同時開催

## 4. 冬季企画展 新収蔵資料展

会期：12月2日(土)～2024年3月30日(土)

編集委員：栗原敦、林淑美

## 5. 「震災を書く」展

会期：2024年2月20日(火)～3月30日(土)

\*「4. 新収蔵資料展」と同時開催

# 3. 講座・講演会事業

## 1. 文学館へ行こう！

主に大学生・大学院生を対象とする文学館利用案内講座。春秋各2回、定員各回10名程度

## 2. 資料は語る 「鉄道と文学」

前期：3回＝4月・5月第3土曜日、6月第2土曜日／

後期：3回＝9～11月、各第3土曜日、定員各回30名

(前期)

4月15日(土) 二葉亭四迷とシベリア鉄道

高橋修(共立女子短期大学教授)

5月20日(土) 菊池寛と満鉄

山口政幸(専修大学教授)

6月10日(土) 芥川龍之介の小説と鉄道

篠崎美生子(明治学院大学教授)

(後期)

9月16日(土) 内田百閒「阿房列車」

尾方一郎(一橋大学教授)

10月21日(土) 伊藤整「若い詩人の肖像」と汽車

飯島洋(金沢大学准教授)

11月18日(土) 新感覚派と鉄道の旅

十重田裕一(早稲田大学文学学術院教授・  
国際文学館館長)

### 3. 声のライブラリー(石橋財団助成事業)

文学者の自作朗読と座談会。コロナ以前までおこなっていた集会型年4回の開催(2020年2月までで第100回開催)を取りやめ、2020年度からおこなってきた、無観客の朗読・対談の収録・配信とする。対談部分について英語字幕版も作成・配信する

### 4. 「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして

7月～8月(日未定)開催

夏季企画展にあわせ、中学高校教員を対象に、教育現場での文学館活用法(ミニレクチャー)や意見交換会をおこなう。ZOOM併用

### 5. 第58回 秋の文学教室 「日記を書く 日記を読む」(仮)

読売新聞社後援、小学館協力、11月22日(水)、有楽町・よみうりホール

よみうりホール改修工事に伴う休館(1月1日～8月31日)のため、複数日の利用予約が不可能であることから、前年同様、一日開催を予定

### 6. 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理

8月22日(火)～26日(土)、午前10時～午後5時10分(1日4コマ、計20コマ30時間、2単位)。定員20名

講師：石田仁志、伊藤一郎、大原祐治、紅野謙介、五味渕典嗣、須田喜代次、中島国彦、宮内淳子、山田俊治、和田博文、渡部麻実、事務局職員

### 7. 文学館職員研修講座

2024年1月下旬の3日間(日未定)

## 4. 刊行事業

### 1. 「文学者の手紙」

館編、博文館新社発行、「日本近代文学館資料叢書」第Ⅱ期  
第8回配本別巻『写真アルバム』（編集翻刻・池内輝雄、紅野敏郎、曾根博義、十川信介）  
の準備（本文校了済、博文館新社で製作進行中）

### 2. 紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第19号

2024年3月刊行予定  
編集委員：伊藤一郎、小林幸夫、和田博文

### 3. 『日本近代文学大事典』増補改訂デジタル版

引き続き元版の改訂、増補・書直し・新規立項あわせて約100項目の編集、作家の肖像・  
書影等写真の補充作業を行う（第3期：2024年3月公開予定）  
編集委員：中島国彦（委員長）  
安藤宏、紅野謙介、宗像和重（統括委員）  
石川巧、石田仁志、大原祐治、小平麻衣子、河野龍也、小谷瑛輔、五味淵典嗣、  
篠崎美生子、庄司達也、出口智之、鳥羽耕史、中谷いずみ、日比嘉高（編集委員）

### 4. 『芥川龍之介文庫目録 増補改訂版』

1977年刊行し長らく品切れのためコピー版を頒布していた『芥川龍之介文庫目録』の増補  
改訂版。2023年6月刊行予定（A5判、150p、700部、1100円（仮））

### 5. 『明治文学の彩り 口絵・挿絵の世界』〈英語版〉

2022年1月に開催し同年8月に刊行した同名書籍（館編、出口智之責任編集、春陽堂書店  
発行）の英語翻訳版、電子書籍。2023年秋頃刊行予定  
翻訳者＝Robert Goree氏（Wellesley College 准教授）

### 6. 『震災を書く』（仮）

2013年3月の第一回から10年継続してきた「震災を書く」展の資料をもとに一冊にまとめ  
る。2023年度内刊行予定（青土社）

## 5. SARTRAS 共通目的事業

- ①日本近代文学大事典の継続的構築  
元版修正、新規・増補原稿編集、写真補充等データ整備の継続
- ②教科書定番4作品の番組化  
2023年は「羅生門」「山月記」の番組制作・編集作業
- ③音声・映像資料デジタル化  
著作権調査・諾否申請、公開システム整備作業

## 6. 運営審議会

- ・6月24日（土）、2023年度運営審議会開催予定

## 7. 全国文学館協議会

- ・6月14日（水）、幹事会、2023年度総会開催予定
- ・秋頃、第9回資料情報部会（於・富山県、高志の国文学館）開催予定

## 8. 広報

- ・館報「日本近代文学館」を続刊
- ・ホームページの活用

## 9. 設備改修工事

- ・外部鉄部（階段、内門、通用口扉など）塗装（鈴の木建築105万）
- ・総務部空調機更新（東京冷機57万）
- ・屋上空調機オーバーホール（東京冷機77万）
- ・地下空調機ベルト等部品交換（東京冷機32万）

## 10. 建物管理保全

- ・長期的な修繕の展望を立てて、問題点を明らかにする

## その他